

次号予告

2016年4月号

特集

認知症当事者とともに生きる

本号に続き、「認知症当事者とともに」という視点で、認知症の人への医療や看護をとおして、実際に医療者が何をみて、何を感じ、どのようなことを考えてきたかを紹介します。本人の生きる力を信じ、医療者だからできる、タイミングを見極めながら「待つ」ということ、必要なときに必要なケアがいつでも提供できるということなど、決してマニュアル化することのできない何かを示したいと思います。

認知症当事者をとおして学んだこれからの医療の
あり方●繁田雅弘

遠回りしてきた認知症医療●木之下徹

進む道は、認知症の人が教えてくれた●藤本直規

認知症の人と出会って考えたこと●宮子あずさ

認知症があってもなくても私たちが実践すること
●秦実千代

【対談】

認知症の人とともに考え実践してきたことの意味
●秋山正子・中島紀恵子

INTERVIEW ケアのヒュッテ

塚田桂子さん・原田純子さん(マザー湘南)

編集後記

4 年半にわたり連載いただいた細馬宏通先生の「介護することは介護するからだ 細馬先生の観察日記」が今号で最終回となりました。介護施設や地域をフィールドに人々の間で交わされることばや動作の詳細な観察から導かれる鋭い洞察を、楽しみにしていただいていた方も多いと思います。お忙しいなか弛まなく毎号ご執筆いただきましたことにあらためて深く御礼申し上げます。

なお、これまでの連載をまとめなおした書籍を近日中に発行予定です。人と人との関わり方やケアのあり方が詳細な観察をもとに顕わにされた本連載をあらためてまとめて読み返していただく機会としてお手に取っていただければ幸いです。…小林

今 特集では、認知症、とくに若年性の方とともに学び、支え合い、居場所をつくってきた方を中心にご登場いただきました。さまざまな現場を取材するなかでは、当事者の方々に前に、それまで身につけてきた知識やスキルをいかに使うかと端から意気込むのではなく、まず相手が必要としていることに、自分はどう応えていくかという、人との向き合い方を学んだという方もいました。専門職は専門職としての出番を近くにいてしっかり待つという、地域包括ケアのなかでのだいたいなスタンスのひとつと感じました。…早田

訪問看護と介護 第21巻 第3号(通巻237号) 2016年3月15日発行(毎月1回15日発行)

発行:株式会社医学書院 代表者:金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2016, Printed in Japan

1部定価:本体1,400円+税 年間購読料(税抜,送料弊社負担,年間12冊):12,600円(冊子版)/

15,600円(冊子+電子版/個人)/17,520円(冊子+電子版/共有)/12,600円(電子版/個人)/14,520円(電子版/共有)

販売部:☎03-3817-5659 社内案内:☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室:☎03-3817-5787 FAX03-5804-0485 担当:小林・栗原・早田

✉houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter @houmonkango

医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp/> ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写,スキャン,デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。

大学,病院,診療所,企業などにおいて,業務上使用する目的(診療,研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは,その使用範囲が内部的であっても,私的使用には該当せず,違法です。また私的使用に該当する場合であっても,代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】(出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は,そのつど事前に出版者著作権管理機構

(☎03-3513-6969, FAX03-3513-6979, ✉info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

※「訪問看護と介護」は,株式会社医学書院の登録商標です。